

7月

川辺川ダムをめぐる取り組み
川辺川土地改良事業の新利水計画の策定に向けて、国、県、地元市町村が一体となり関係農家との集落座談会を開催。また、川辺川ダムに関する治水の効用を論議する森林の保水力の共同検証も実施され、その一つである地表流観察試験は九月から観測を継続中です。

若者の就職支援を行う「ジョブカフェくまもと」が熊本市のJR水前寺駅ビルにオープン。相談から職業紹介まで一体的なサービスを提供しています。



職業紹介を受けている若者

8月

中小企業を支援する新たな融資制度の創設
無担保、第三者保証人なしの迅速な審査を行う融資制度である「くまもとフライト資金」を創設し、八月から運用を開始しました。また、ベンチャー企業を対象とした「くまもとベンチャー元気資金」も創設（九月）しました。

くまもと農産物サポーターづくり開始

熊本の農業や農産物などを県外から応援するサポーターの募集を開始し、農産物の販路拡大や農業の元気づくりを進めています。また、観光や県産品のPRなどにより、熊本のイメージアップを支援する「くまもと誘致大使」制度も始め、その名譽大使の第一号として八代重紀さんを委嘱（九月）しました。



「くまもと誘致大使」の委嘱
友大使 制度も始め、その名譽大使の第一号として八代重紀さんを委嘱（九月）しました。

第16回全国農業青年交換大会開催



第16回全国農業青年交換大会開会式

皇太子殿下のご臨席を仰ぎ、グランメッセ熊本をメイン会場に、県内十一地域で開催され、全国の農業青年の農業に関する知識や技術の交換と仲間づくりが進められました。

台風が相次いで県内を直撃

八月末から台風が相次いで九州に上陸、接近し県内各地に大きな被害をもたらしました。農業被害対策などを早急に進めています。

9月

内柴正人選手に県民栄誉賞



アテネオリンピックビック柔道男子66キログラム級で金メダルを獲得した内柴正人選手に潮谷知事から県民栄誉賞が授与されました。



県民栄誉賞の記念植樹

産業廃棄物税条例が可決

産業廃棄物の排出抑制・リサイクルや適正処理の促進などの施策の費用に充てるための「産業廃棄物税条例」が県議会会で可決され、来年四月からの施行を予定しています。

10月

「水俣病関西訴訟」最高裁判決
最高裁は、水質二法などに基づく規制権限行使しなかったとして、原告三十七名に対して国と県の責任を認め、損害賠償を命じました。

11月

ユニバーサルデザインの推進
「すべての人が暮らしやすい社会」の実現を目指すユニバーサルデザイン(UD)。県内のさまざまな取り組みを紹介するため、「くまもとUDものづくりフォーラム2004」(十月)や「くまもとアートポリス2004とUD展」などを開催しました。

富士写真フイルム(株)の新工場建設が決定
当社の国内最大級となる液晶部品工場が菊陽町に建設されることが決定。本県経済の活性化につながる事が期待されます。

12月

牛肉のトレーサビリティ完全実施
九月、本県初のBSE(牛海綿状脳症)感染牛が確認されました。十二月からは、牛の出生から精肉などとして消費者に販売・提供されるまでの牛肉のトレーサビリティ(生産履歴)システムの運用が始まるなど、「食の安全安心」に向けた取り組みを進めています。

「第14回全国ボランテニアフェスティバル」の国くまもと開催準備進む

来年十月に「燃えよボランテニア 火の国の集い」熱か心わがまちにをテーマに熊本で開かれる「第14回国ボランテニアフェスティバル」の国くまもとに向けた準備を進めています。



実行委員会の設立総会

知事室から



熊本県知事 潮谷 義子

年の瀬、寒さもひとしお増していく中で、新潟県中越地震の被災地では、今なお避難生活を強いられている方々がいらっしゃいます。一日も早い復興をお祈りしたいと思います。また、今年は相次ぐ台風の来襲により本県も大きな被害を受けました。あらためて被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、四月に県民の皆様から再び御信任をいただき、将来を見据えた行財政体制の構築とともに「元気で明るい熊本づくり」に全力で取り組んでおります。

県内の景気・雇用情勢には依然として厳しさも残っておりますが、九州新幹線の開業や富士写真フイルム(株)の工場立地決定など、くまもとの元気づくりにつながる大きな動きも出てきております。

また、皇太子殿下をお迎えしての「全国農業青年交換大会」や内柴選手のアテネでの活躍など明るい話題もありました。

来年秋には「全国ボランテニアフェスティバル」が開催されます。

これからも「熊本の元気」を皆さんとともにおこし、大いに全国に発信して参りましょう。